

5 単元構成（本時3 / 7）

| 時間      | 学習活動・ねらい   | 評価基準  |
|---------|--|---|
| 1       | 円や球が身の回りにはたくさんあることに気づき、単元の課題をもつ。                                 | 【関】こま作りをすることを知り、学習課題に興味・関心をもつ。<br>B：こまが回る様子を進んで観察することができる。<br>A：どんなこまがよく回るのか考えながら、観察することができる。   |
| 2       | こま作りの活動を通して、円に着目し、円のかき方、円の中心、半径について理解する。<br>コンパスを使って、円をかくことができる。 | 【知】円をかく活動を通して、円の定義や用語とその概念を理解する。<br>B：円、円の中心、半径という用語を知り、その意味が理解できる。<br>A：円周上の点と円の中心との間の長さが、いつも同じであることに気づくことができる。<br>【表】コンパスを用いて半径3 cmの円をかくことができる。<br>B：コンパスを用いて円の作図ができる。<br>A：コンパスを用いて円をかく方法とそれ以外の方法を比べて、コンパスのよさに気づくことができる。   |
| 3<br>本時 | 円の形をした物の中心を見つけることから、円の直径について知り、その性質を調べる。                         | 【考】円の中心を見つける方法を考えることができる。<br>B：紙を折るなど、円の中心を見つける方法を考えることができる。<br>A：円の中心を見つけた後、コンパスやものさしを用いて、円の中心を確かめることができる。<br>【知】直径の意味、直径と半径の関係、直径の性質がわかる。<br>B：直径の意味を知り、直径の性質を調べることができる。<br>A：直径の性質や円の中心や半径との関係について、それぞれ関連づけて理解することができる。  |
| 4       | 模様作りを通して、コンパスの使い方と円のかき方に習熟するとともに、模様作りの楽しさを味わう。                   | 【表】コンパスを用いて、方眼紙に円を組み合わせた模様をかくことができる。<br>B：円の中心の位置や半径の長さを決め、模様をかくことができる。<br>A：半径がどれも同じ長さの円でできていることに気づき、模様の外側にある円の様子をイメージし、連続した模様を想像することができる。<br>【関】円の連続性の美しさに気づき、進んで模様作りを工夫しようとする。<br>B：コンパスを用いて、きれいな模様を進んでかくことができる。<br>A：円の中心を規則的に移動していけば、模様に関連した美しさがでることに気づくことができる。      |
| 5       | 長さを表す道具としてのコンパスの使い方を知り、折れ線を直線に写し取り、長さを調べる。                       | 【表】コンパスを用いて、折れ線を直線に写し取り、長さを調べることができる。<br>B：コンパスの新たな働きを知り、コンパスを用いて折れ線の美しさを正確に写し取り、長さを比べることができる。<br>A：ものさしを用いるのと比べて、コンパスを用いることのよさを考えることができる。  |
| 6       | 身の回りにある丸い形の特徴を調べて、球についての知識をもち、球の中心、半径、直径について理解する。                | 【考】球がどんな形か実物や模型で調べ、特徴を考える。<br>B：ボールのようなまるい形はどこから見ても円に見えることに気づき、切り口も円になることを調べることができる。<br>A：円と球のようなまるい形のものの違いを見つけて、球だけにいえることを考えることができる。<br>【知】球の構成要素が理解でき、球の直径の測り方を考える。<br>B：球の中心、半径、直径について理解して、球の直径を身の回りのものを利用して工夫して測ることができる。<br>A：円と関連させて、球の中心、半径、直径の性質や互いの関係を理解することができる。 |
| 7       | 「やってみよう」をすることを通して、円の仕組みやコンパスの使い方についての理解を深める。                     | 【表】宝探しを通じて、コンパスの使い方について習熟することができる。<br>B：コンパスを用いて、中心から等距離にあるものをみつけることができる。<br>A：コンパスを用いることの便利さに気づき、中心から等距離にあるものをみつけることができる。  |